

# われだ

△里山夕霧 蜂蜜 野生の日本ミツバチによる100%天然はちみつです

飯館村産。目を覚めることがなかった。011年のハチミツ製菓に貼るはずのラベルが、今も村内の農業研修施設「いでふあ」にむに残る。野生のニホンミツバチの百花蜜は飯館村の森の恵みそのもの。人気商品になるはずだったんだ。飯館村農民習いを自決する「ふあ」の曹理人、伊

き受けた。「ふあ」むが開所したに進んだ。あの日までは。10年3月末から、約2秒を借り受け、未経験の稲作に挑んだ。ハウスの苗床に手11年3月の東京電力福島作業で水をやるため起床は午前4時。滅菌薬の田んぼを起しした号機から放出された大量の放射性物質は、風に乗って飯館村方向に運ばれ、雨と雪によって「毎日、俺よりもずっと村の大地に降り注いだ。」早起きだったもんなあ。伊藤が「まさかこれだ」といつ時

## 「東電を恨んでも恨みきれない」

### ■ 請求書

でいならしむらの表現は順調

国内すべての原発が停止する中、アフロの一本釣りである。有名な本州北端の青森県大間町では、時計の針を戻すかのように電源開発(IPWR)大間原発の建設が進む。

OX)燃料を全炉心で使う」とと警鐘を鳴らす。因がため込みまないと、新たに改ざんなど不正が相次ぎ発覚する大間原発にフルM建設する大間原発にフルMアルサーに本腰を入れ、高速増殖炉も同じOX導入の方針を決定。電気事業連合会は9年、大間発で始まったのは09年だったと明かす。

## 建設進む大間原発



核燃料の幻影 神話

見つからぬ「解」③



委員長を原上)発、原西3号炉を機、燃料MOXの北村雅原(左海下)「パワ」大間町市長(北右)道内館市ラージュ

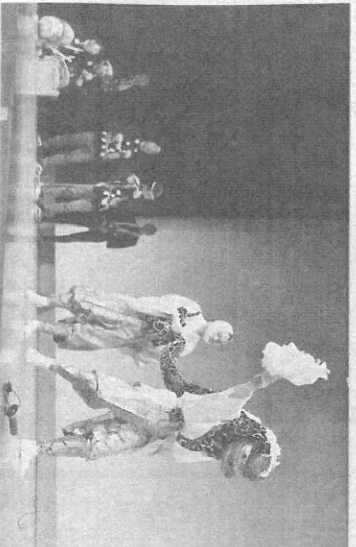
## 課題多い「フルMOX」

分産されたフルトニウムをもんじエールギの自立を図るに工事が再開。気料金に反映される」と批判する明治大准教授の勝田忠広(45)。

さらに、使用済みMOX燃料は放射性物質の量が多いため、燃料の期間も長い。海道函館市は事故時に受け影響などを理由に、国との「トニ」と呼ばれた東電元示す。副社長の豊田正敏(60)も「核のゴミの最終処分場が一つもできない」基本計画の問題をどう捉えるのか」と異議を唱える。

大間原発は国のフルサーだ。だが世界でも例がないだ。燃料を全炉心で使う」とと警鐘を鳴らす。因がため込みまないと、新たに改ざんなど不正が相次ぎ発覚する大間原発にフルM建設する大間原発にフルMアルサーに本腰を入れ、高速増殖炉も同じOX導入の方針を決定。電気事業連合会は9年、大間発で始まったのは09年だったと明かす。

## 飯館村民、再会喜ぶ 福島で「ふれあい集会」



神楽舞やコンサートなどが繰り広げられた「いいい村民ふれあい集会」

当時の経済産業相、枝野幸一でははくハテオカガリ男は建設を容認し12年10月を使ったもので、電料金に反映される」と批判する明治大准教授の勝田忠広(45)。

さらに、使用済みMOX燃料は放射性物質の量が多いため、燃料の期間も長い。海道函館市は事故時に受け影響などを理由に、国との「トニ」と呼ばれた東電元示す。副社長の豊田正敏(60)も「核のゴミの最終処分場が一つもできない」基本計画の問題をどう捉えるのか」と異議を唱える。

実行委と村の主催で、村民の絆を深め合う場をつくると昨年継続して開催。としかオーニンイベントで言野英雄村長は「村民が心を合わせて、復興に向け取り組んでいこう」と呼び掛けだ。

会場では震災前に行ってきた村民十大ニュースの発表や、奥州赤坂神楽団による神楽舞、シンガー、ソングライターのイルカさんなどが繰り広げられ、来場者が楽しいひとときを過ごした。ホテルがルなど、東京電力福島第1原発事、福島市飯坂町で開かれ、